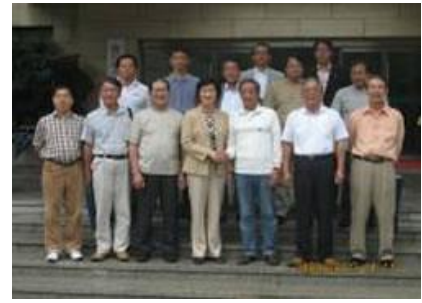


浙江省人民政府外事弁公室

昼食後、元、在大阪中国総領事館勤務の莫さんが、現在勤務している浙江省人民政府外事弁公室建物があるということで、紹介してもらい、その建物の前で記念写真撮影を行なった。側に三棟が空いているようで、杭州進出の企業に貸すことは可能であるとか。とにかく周囲の環境が素晴らしい。森の緑と湖に恵まれている場所である。



霊隠寺参観

その後、我々は霊隠寺を訪問した。門をくぐると左側の川に沿った崖には沢山の仏像が彫られていた。

霊隠寺は中国禅宗十大古刹の一つであり、その歴史は二千年以上のぼるようだ、326年にインドの高僧・慧理によって建立され、最盛期の10世紀頃は3千人以上の僧が居たようだ。

寺内に中国最大の木彫り釈迦牟尼の座像や五百羅漢が安置されている。現在の寺院は19世紀後再建された建物ということだった。

雨にも関わらず多くの参観者が訪れていた。



塩城市人民政府との交流

夕方から宿泊先の維景国際大酒店3楼で塩城市人民政府との交流会・宴会を行なった。

塩城市人民政府側は総勢18名が参加したが、交流会は杭州市人民政府友好協会方式と異なり、対面方式で交流会を行なった。

市政府側から曹友琥副市長、何素成副秘書長、趙寧外事弁公室主任、劉源新区区長助理、李春暉経済開発区招商四局局長、顧碩環保産業園管理委員会副主任、周曉晴外事弁公室副研究員、朱悦、通訳の朱さんがメインとして対面した。他に複数名が周囲に同席もしていた。

最初は市政府からメンバーの紹介と動画での説明を行った後、我々の紹介を行なった。その後は簡単な質疑を行っていたが市政府側の朱通訳に対し曹吹く市長は少し怒ったようで、その後は莫麗麗さんが通訳を始めて事なきを得た。



その後は場所を替えて宴会を行なった。

宴会では三つの円卓テーブルがあり今回のメイン酒は白酒である。聞くと人民政府指定の白酒であり、高いときは600元/本もするという42度の白酒「五醜泉」である。

白酒で乾杯し、お互いに更なる交流を図った。曹副市長は最初から炭酸水と一緒に飲み始めたので、私も真似をした。これを周囲の日本人にも薦め、酔いを少しでも緩和できるよう話した。強烈な白酒を飲